

平成26年度教育研究活動報告書

氏名	高木 卓司	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	理学博士	職位	教授
専門分野	物理学（原子核理論）		
Ⅰ 教育活動			
本年度担当科目			
学部	教養数学 物理学入門 地球と宇宙 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ		
Ⅱ 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
（1）〈論文〉「Many-body effects in the (e, e'p) reaction」 Physical Review Letter, Vol. 62, 395 (1989)			
（2）〈論文〉「Cooperative damping mechanism of the resonance in the nuclear photoabsorption」 Physical Review Letter, Vol. 80, 5068 (1998); arXiv: nucl-th/9711017			
（3）〈論文〉「Nuclear photoabsorption at photon energies between 300 and 850 MeV」 Physical Review, C66, 014612 (2002); arXiv: nucl-th/0112079			
（4）〈論文〉「 π NN coupling and two-pion photoproduction on the nucleon」 Physical Review, C67, 034601 (2003); arXiv: nucl-th/0210063			
（5）〈論文〉「Optical potential approach to K+d scattering at low energies」 Physical Review C81,055204(2010); arXiv:nucl-th/0911.5480			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1）K中間子と重陽子の散乱について			
研究テーマの進捗状況	重陽子内でのエキゾチック共鳴粒子（ペンタクオーク）の影響を考慮した断面積の計算結果についての考察を行い、エキゾチック粒子の存在の可能性や実験の示唆を含んだ内容を論文の形としてまとめている。		
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			
日本物理学会・米国物理学会			